

メロン(野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	系統区分	作用機 構分類 コード	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	べ と 病	疫 病	菌 核 病	黒 点 根 腐 病	炭 疽 病	苗 立 枯 病	つ る 枯 病	う ど ん こ 病	果 実 汚 斑 細 菌 病	斑 点 細 菌 病
ドイツボルドーA水	無機	M1		-	-										◎
フルピカFL	AP	9		1	4								◎		
サブロール乳	DMI	3		1	6								◎		
スコア顆水	DMI	3		1	3							◎	◎		
トリフミン水	DMI	3		1	5								◎		
マネージDF	DMI	3		1	4								◎		
アミスター20FL	QoI	11		1	4	◎						◎	◎		
ストロビーFL	QoI	11		1	3	◎						◎	◎		
アフェットFL	アミド	7		1	3							◎	◎		
カンタスDF	アミド	7		1	3			◎							
ポリオキシシAL溶	抗生物質	19		1	5							◎	◎		
スミレックス水	ジカホキシミド*	2		1	3			◎							
ロブラール水	ジカホキシミド*	2		1	4			◎				◎			
トップジンM水	ベンゾイミダザール	1		1	3							◎			
トップジンMペースト	ベンゾイミダザール	1		*a	1							◎			
ベンレート水	ベンゾイミダザール	1		1	3			◎							
ジマンダイセン水	有機硫黄	M3		7	5	◎	◎		◎		◎				◎
ペンコゼブFL	有機硫黄	M3		7	5	◎						◎			
キノンドー水40	有機銅	M1		10	5	◎			◎					◎	◎
サンヨール乳	有機銅	M1		1	4								◎		
ドキリンFL	有機銅	M1		10	5							◎		◎	
ヨネポン乳	有機銅	M1		7	4	◎							◎		
アリエッティ水	有機リン	P7		1	3	◎									
リゾレックス水	有機リン	14		*d	1			◎							
				*e	1			◎							
オーソサイド水80	他	M4		*b	5						◎				
				14	5	◎			◎		◎				
ケンジャFL	他	7		1	3							◎	◎		
セイビアーFL20	他	12		1	3			◎							
ダコニール1000FL	他	M5		3	5	◎						◎	◎		
タチガレン液	他	32		*c	1						Ⓟ				
パルミノFL	他	M10		3	10								◎		
パレード20FL	他	7		1	3			◎				◎	◎		
ピシロックFL	他	U17		1	3	◎									
モレストン水	他	M10		3	10								◎		
ライメイFL	他	21		1	4	◎									
ランマンFL	他	21		1	4	◎									

メ
ロ
ン

メロン(野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	系統区分	作用機 構分類 コード	人 畜 毒 性	使用 時期 (日数)	使 用 回 数	べ と 病	疫 病	菌 核 病	黒 点 根 腐 病	炭 疽 病	苗 立 枯 病	つ る 枯 病	う ど ん こ 病	果 実 汚 斑 細 菌 病	斑 点 細 菌 病
テーク水	DMI・有機硫黄	3・M3		7	5	◎						◎	◎		
アミスターオブティFL	QoI・他	11・M5		3	4	◎		◎				◎	◎		
ピカットFL	アミド・AP	7・9		1	3							◎	◎		
パンチョTF顆水	アミド・DMI	U6・3		1	2								◎		
フォリオゴールドFL	アミド・他	4・M5		3	3	◎						◎	◎		
ベジセイバーFL	アミド・他	7・M5		3	3	◎						◎	◎		
カスミンボルドー水	抗生物質・無機	24・M1		3	5								◎	◎	◎
リドミルゴールドMZ顆水	有機硫黄・アミド	M3・4		7	3	◎									
ショウチノスケFL	他・AP	U13・9		1	2								◎		
ファンベル顆水	他・QoI	M7・11		1	5			◎				◎	◎		
ホライズンDF	他・QoI	27・11		1	3	◎									
ダイアメリットDF	他・抗生物質	M7・19		1	5							◎	◎		
ポリベリン水	他・抗生物質	M7・19		1	5							◎	◎		
カーゼートPZ水	他・有機硫黄	27・M3		7	3	◎									
カンパネラ水 ベネセット水	他・有機硫黄	40・M3		7	5	◎									
カーニバル水	他・他	40・M5		3	3								◎		
ドーシャスFL	他・他	21・M5		3	4	◎						◎	◎		
ブリザード水	他・他	27・M5		3	3	◎									
プロポーズ顆水	他・他	40・M5		3	5	◎						◎			
バトファイター顆水	他・他	27・40		3	3	◎									

*a:発病初期(但し収穫21日前まで) *b:播種後～2～3葉期まで *c:播種時 *d:定植時
*e:生育期(但し収穫21日前まで) ◎:ピシウム菌による病害

メロン(野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	系統区分	作用機 構分類 コード	人畜 毒 性	使用 時期 (回数)	使用 回数	ア ブ ラ ム シ 類	コ ナ ジ ラ ミ 類	ア ザ ミ ウ マ 類	ハ モ グ リ バ エ 類	ウ リ ノ メ イ ガ ガ	オ オ タ バ コ ガ	ネ キ リ ム シ 類	コ ガ ネ ム シ 類 幼 虫	ウ リ ハ ム シ	ケ シ マル ト ビ ム シ	ハ ダ ニ 類	ネ コ ブ セ ン チ ユ ウ
スピノエース顆水	スピノシ	5		1	2			◎	◎	◎							
コロマイト乳	コロイト*	6		1	2		◎		◎							◎	
アタブロン乳	I GR	15		14	3		タ	ナ		◎							
カスケード乳	I GR	15		7	3		タ	ナ	ト								
トリガード液	I GR	17		1	3				ト								
マトリックFL	I GR	18		1	3					◎							
バイデートL粒	カーバート	1A	劇	*e	1				地 場								
				*d	1												◎
バッサ乳	カーバート	1A	劇	1	4				ナ								
ネマキック粒	殺線虫	1B		*d	1												◎
ネマトリンエース粒	殺線虫	1B		*d	1												◎
ラグビーMC粒	殺線虫	1B		*d	1												◎
カネマイトFL	殺ダニ	20B		1	1												◎
サンマイトFL	殺ダニ	21A	劇	3	2	◎	◎										◎
スターマイトFL	殺ダニ	25A		1	1												◎
ダニサラバFL	殺ダニ	25A		1	2												◎
ニッソラン水	殺ダニ	10A		3	2												◎
バロックFL	殺ダニ	10B		1	2												◎
マイトコーネFL	殺ダニ	20D		1	1												◎
モベントFL	殺ダニ	23		*h	1	灌	灌	灌									灌
				1	3	◎	◎	◎									◎
フェニックス顆水	ジアミト*	28		1	2					◎	◎						
プレバソンFL 5	ジアミト*	28		1	3				◎		◎						
ベリマークSC	ジアミト*	28	*h	1	灌	灌	灌										
				1	2	◎	◎	◎	◎	◎							
				*h	1	灌	灌	灌									
ヨーバルFL	ジアミト*	28		1	2				◎	◎							
ダブルシューターSE	スピノシ	5		1	2		◎	◎	◎	◎							◎
ディアナSC	スピノシ	5		1	2		◎	◎	◎	◎							
アクタラ顆溶	ネコチノイト*	4A		1	3	◎	◎	ナ	◎								
アクタラ粒5	ネコチノイト*	4A	*c	1	◎	◎	ナ	◎									
アドマイヤー顆水	ネコチノイト*	4A	劇	*a	3	◎	◎	◎									
				*f	1	◎											
				*c	1	◎	◎	◎									
アドマイヤー1粒	ネコチノイト*	4A		*c	1	◎	◎	◎									
アルバリン顆溶	ネコチノイト*	4A		3	2	◎	◎	◎									
スタークル顆溶	ネコチノイト*	4A		*c	1	◎	◎	◎									
アルバリン粒	ネコチノイト*	4A		*e	1	◎	◎	◎									
スタークル粒	ネコチノイト*	4A		*e	1	◎	◎	◎									
ダントツ溶	ネコチノイト*	4A		1	3	◎	◎	ナ	◎					◎			

メ
ロ
ン

メロン(野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	系統区分	作用機 構分類 コード	人畜 毒 性	使用 時期 (回数)	使用 回数	ア ブ ラ ム シ 類	コ ナ ジ ラ ミ 類	ア ザ ミ ウ マ 類	ハ モ グ リ バ エ 類	ウ リ ノ メ イ ガ	オ オ タ バ コ ガ	ネ キ リ ム シ 類	コ ガ ネ ム シ 類	ウ リ ハ ム シ 類	ケ シ マル ト ビ ム シ 類	ハ ダ ニ 類	ネ コ ブ セ ン チ ユ ウ
ダントツ粒	ネコチノイト [®]	4A		*f *c *g	1 3	◎ ◎	◎ ◎	ナ	ト								
バリアード顆水	ネコチノイト [®]	4A	劇		1 3	◎	◎	ナ		◎							
ベストガード溶	ネコチノイト [®]	4A			7 3	◎	◎	ナ									
ベストガード粒	ネコチノイト [®]	4A		*e *c	1	◎	◎	◎	ナ								
モスピラン顆溶	ネコチノイト [®]	4A	劇		3 3	◎											
アーデント水	ビレスロイト [®]	3A			1 5	◎			ミ								◎
アディオソ乳	ビレスロイト [®]	3A			1 5	◎											◎
サイハロン乳	ビレスロイト [®]	3A	劇		1 1	◎											
テルスター水	ビレスロイト [®]	3A			1 4	◎			タ								◎
マブリック水20	ビレスロイト [®]	3A	劇		3 2	◎											◎
アグリメック乳	マクロライト [®]	6	劇		1 3		◎	◎									◎
アニキ乳	マクロライト [®]	6			1 4		◎		◎								
アフーム乳	マクロライト [®]	6			1 2		◎	◎	◎	◎							
サンヨール乳	有機銅				1 4	◎											◎
スブラサイド水	有機リン	1B	劇		3 2				ナ								
スミチオン乳	有機リン	1B			1 5	◎		◎									
ダイアジノン乳40	有機リン	1B	劇		14 4	◎										◎	◎
ダイアジノン粒5	有機リン	1B		*b	2 4						◎			◎			
マラソン乳	有機リン	1B			1 3	◎							◎				◎
ウララD F	他	29			1 2	◎	◎										
グレーシア乳	他	30			1 2		◎	◎	◎	◎							◎
コルト顆水	他	9B			1 3	◎	◎										
チェス顆水	他	9B			3 4	◎											
ブレオFL	他	UN			1 2			◎	◎	◎							
アプロードエースFL	IGR・殺ダニ	16・ 21A			1 3		◎										

*a: 収穫3日前まで(但し露地栽培については着果後から) *b: 播種時又は定植時
 *c: 定植時 *d: 定植前 *e: 育苗期 *f: 育苗期後半 *g: 定植後(但し収穫前日まで)
 *h: 育苗期後半～定植当日

タ: タバココナジラミ類(シルバリーフコナジラミを含む)

ト: トマトハモグリバエ ナ: ミナミキイロアザミウマ

ミ: ミナミキイロアザミウマ及びミカンキイロアザミウマ

地: 地床でミナミキイロアザミウマに適用

揚: 揚床でミナミキイロアザミウマに適用

灌: 灌漑処理での登録

メロン(野菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
べと病	苗床期～生育期	<ul style="list-style-type: none"> 次の薬剤のいずれかを散布する。 ジマンダイセン水和剤 400～600倍 ダコニール1000(FL) 700～1000倍 ドーシャスフロアブル 1000倍 プロポーズ顆粒水和剤 1000倍 ホライズンドライフロアブル 2500倍 ライメイフロアブル 2000～4000倍 	
つる枯病	生育期	<ol style="list-style-type: none"> 発生が認められたら次の薬剤のいずれかを散布する。 ジマンダイセン水和剤 400～600倍 スコア顆粒水和剤● 2000倍 ダコニール1000(FL) 1000倍 トップジンM水和剤● 1500～2000倍 ベルコートフロアブル 1000倍 ペンコゼブフロアブル 500倍 ロブラール水和剤● 1000倍 <p>2. 茎に発生を見たら、ただちに病斑部を削り取りトップジンMペーストを塗布する。</p>	<p>本病菌は他のウリ科植物も侵し、発病適温の範囲が広い。</p> <p>●耐性菌を生じるおそれがあるので連用しない。</p>
うどんこ病	生育期	<ul style="list-style-type: none"> 発生が認められたら次の薬剤のいずれかを散布する。 スコア顆粒水和剤● 2000倍 ダコニール1000(FL) 700倍 トリフミン水和剤● 3000～5000倍 パンチョTF顆粒水和剤● 2000倍 フルピカフロアブル 2000～3000倍 ベルコートフロアブル 1000倍 ポリベリン水和剤 1500～2000倍 モレスタン水和剤△ 2000～4000倍 	<p>●耐性菌を生じるおそれがあるので連用しない。</p> <p>△モレスタンは高温時に薬害を生じるおそれがあるので使用をさける。</p>
つる割病	播種前	<ol style="list-style-type: none"> 1. 土壌消毒を行う(土壌消毒の項参照)。 2. 支柱は新しいものを使用する。古い支柱を使用するときはあらかじめ消毒する。 3. 接木栽培を行う。△ 	<p>病原菌は数年間土中に残り、主としてメロンを侵すが、マクワウリ、シロウリも侵す。</p> <p>△接木台…温室メロン：エメラルドゼム、バーネットヒルヘボリット、大井</p> <p>露地・ハウスメロン：カボチャ(新土佐、鉄かぶと)</p>
	生育期	<ul style="list-style-type: none"> 発病株は早期に抜きとり焼却する。 	

メロン(野菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
モザイク病		1. アブラムシ類を駆除する。 2. シルバーマルチ(ムシコン等)によるマルチ栽培も有効である。	
アブラムシ類(ワタアブラムシ)	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 ウララDF 2000～4000倍 マブリック水和剤20 4000倍	
ミナミキイロアザミウマ	定植時	・次の薬剤を植穴又は株元に土壌混和する。 アドマイヤー1粒剤# 1～2g/株	#アザミウマ類での登録
	生育期	・生育初期から次の薬剤のいずれかを散布する。 アタブロン乳剤 2000～4000倍 スピノエース顆粒水和剤# 5000倍 スプラサイド水和剤 1000倍	
ウリノメイガ	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アタブロン乳剤 2000倍 スピノエース顆粒水和剤 5000倍	
ウリハムシ	成虫発生時	・成虫の発生が多い時は次の薬剤を散布する。 マラソン乳剤 1000倍	山沿地域で発生が多い。
ハダニ類	生育期	・発生初期に次の薬剤のいずれかを散布する。 ダニサラバフロアブル 1000倍 マブリック水和剤20 2000倍	
ネコブセンチュウ	播種前	・床土は土壌消毒する(土壌消毒の項参照)。	
	定植前	1. 作付予定地は土壌消毒する(土壌消毒の項参照)。 2. 次の薬剤のいずれかを土壌混和する。 ネマキック粒剤 15～20kg/10 a ネマトリンエース粒剤 15～20kg/10 a	